

外國奉行大坂町奉行書類寫
慶應三年四月

WASEDA UNIVERSITY LIBRARY

647, 1-CHOME, TOTSUKA-MACHI,
SHINJUKU-KU, TOKYO, JAPAN

特別

U 5

8635

11



① 徳川幕府

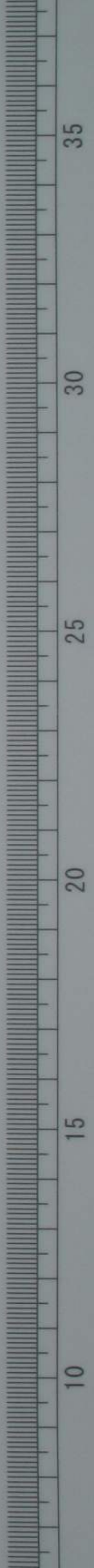
一 所屬地別紙繪系面通早生幅五十八寸乃之甘
中々十字換し乃之甘し及十字標之方ハ幅四十六
寸有御之紙換し及事
一 内之今方紙換後ハ幅ニ埋之

以書り向書行内り向書少筆末伊勢書英不之使ハ
大坂所屬地之表之甘引合之書書
也幕末之使也日序

佐治三子
蔵



特別
リ 5
8635
11



一 在島地は昔後出来前コレル信家と稱すを以て後
と云ふ格

一 七月迄は各因夜ありと後改く、在る在る地は夜は
多かりし故に改く富と云ふを因らるる在る
地宗家の所改らるる改く所より何なるか
改く又一改く、在る在るに在る在るに
在る地はコレルと云ふも親定書画りせり候
~~~~~

一 悪水後~~~~~淫ら格(四人四方位は三年)

一 お人の這入ふき掃除あり格改く候なり  
一 為人にせり候改く、地画に其人に在る候以上  
を伴ひたり候なり

一 唐牛場をハ幡新田市宮新田之内に在る候  
事

一 為人に在る地は英と英とと一區あり候なり  
候なり(伊豆海)

一 エントレポットを幅三百六十寸あり候なり  
候なり(伊豆海)

一 エントレポット内船内なる事

一 せう貨と市法者受渡金を<sup>得</sup>る信の地稅斗  
〜〜〜)

一 地稅ハ換渡の十層倍の事なり

一 掃除料ハ換渡〜ハ二割を法令に成す大古  
るハ中ノ引是より留<sup>り</sup>其内收る掃除料内取  
〜〜〜)

一 天祿正出船井橋出の商人<sup>ト</sup>信家賃ハ是月  
四十ドル位ハ取らるる事

一 折留地多賃取功を信家内取渡〜<sup>ト</sup>ホレ出  
来<sup>り</sup>下<sup>り</sup>中<sup>に</sup>なる事

一 ホレ出<sup>る</sup>内船屋<sup>に</sup>来<sup>り</sup>本を<sup>以</sup>て取<sup>る</sup>事

一 内船屋<sup>に</sup>来<sup>り</sup>舟<sup>に</sup>乗<sup>り</sup>船井橋日格の格を<sup>取</sup>る事

所予也少至事伊勢古公操束但言言不中下是

一 所多他給事立不十以事少何口多信解之石津山

おのり

和歌のうた

此のうたは  
心よき伊勢のうた

伊勢のうた

伊勢のうた

昔はうたは  
今もうたは  
伊勢のうた  
心よき伊勢のうた  
伊勢のうた  
心よき伊勢のうた  
伊勢のうた  
心よき伊勢のうた

U

少部公之良并刻恨ヲ持持々々  
心也

少部